

<セミナー>

気候変動政策・対策の展望（適応策を中心として）
～COP26およびIPCC第6次評価報告書を受けて～

セミナー趣旨説明の補足

「環境・持続社会」研究センター（JACSES）
事務局長
足立 治郎

◇視点/目標

- 気候変動対策の目標は、「気候変動による悪影響/被害の最小化」
- 「気候変動の要因となる温室効果ガス削減（緩和策）」に加え、「悪影響/被害を受けやすい人々/コミュニティも取り残さない形の適応策」が必要
- 悪影響/被害を受けやすい人々の一つとして、今回「女性」に焦点

◇確認/共有

-
- IPCC最新報告書
 - COP26
 - 適応関連施策
 - 防災とジェンダー
 - 当センター提案（「緩和」も含むが、今回は、「適応」「気候変動とジェンダー」を主に報告）

等

◇今後の検討（アイデア出し）

● 政府&民間取組

政府のみならず、民間（企業・NGO・市民等）取組が不可欠
※適応は、（緩和に比べ、）指標化・成果明確化が難しく、
取組が進みにくい傾向。いかに克服するか

● 国内取組&途上国協力

「悪影響を受けやすい人々/コミュニティ/国」を取り残さない

● 適応策（&緩和策）

「脆弱な立場の人々を含む適応策」（&「国内外のあらゆる
温室効果ガス削減」）には、多様な取組/アイデアが必要

女性は、適応と緩和の両面で重要